



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL https://www.hokutake.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無 (動画(録画)配信予定)

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	117,387	△5.0	670	△48.6	1,221	△35.7	757	△41.6
2020年3月期第2四半期	123,597	7.3	1,303	58.7	1,898	44.3	1,295	63.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,685百万円 (117.2%) 2020年3月期第2四半期 776百万円 (△73.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	32.26	—
2020年3月期第2四半期	55.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	131,252	53,914	41.1	2,326.75
2020年3月期	130,653	52,729	40.4	2,239.80

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,906百万円 2020年3月期 52,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2021年3月期	—	7.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△3.3	1,300	△56.3	2,400	△41.8	1,600	△21.7	68.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	24,400,000株	2020年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,231,773株	2020年3月期	861,137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	23,470,001株	2020年3月期2Q	23,539,137株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

2020年11月27日（金）に決算説明動画を当社ウェブサイトで開示する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け停滞していた経済活動が再開するも回復ペースは緩やかで、感染再拡大への不安が拭えず厳しい状況が続いています。

このような事業環境の中、新型コロナウイルス感染拡大防止による受診抑制や、医療施設での機材購入の先送りなどの影響により、当社グループの売上・利益はともに減少いたしました。当社グループでは引き続き北海道のヘルスケア市場を支えるという使命の下に、ヘルスケア関連製品やサービスの安定供給を行うとともに、BCP（事業継続計画）対策にも特段に注力し、新型コロナウイルス感染対策としてWebを利用した会議やテレワーク導入に向けたシステム強化に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染防止対策に対する特別手当としてグループ会社全従業員に「感染対策功労一時金」を支給いたしました。

以上の状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,173億87百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は6億70百万円（同48.6%減）、経常利益は12億21百万円（同35.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億57百万円（同41.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2020年4月に診療報酬改定ならびに薬価引き下げが行われました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止による受診抑制と営業活動の制限により一段と厳しい市場環境となりました。また、商品カテゴリー別では、後発医薬品は使用促進により売上が伸長している反面、長期収載品の売上が減少する傾向が依然続いております。新薬の販売にも積極的に取り組みましたが、上記のマイナス要因が影響し全体の売上は減少いたしました。利益面では、きめ細かな価格管理を継続して取り組みましたが、人件費を中心に販売管理費の増加もあり大幅減益となりました。

その結果、売上高は850億90百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は2億32百万円（同49.2%減）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、2020年4月に診療報酬改定ならびに償還価格の引き下げが実施されたことに加え、新型コロナウイルスにより手術や検査などの症例が減少し治療材料や医療機器の買い控えもあり、新築案件や大型機器の販売はあったものの前年を下回る結果となりました。利益面では、売上の減少に伴い減益となりました。

その結果、売上高は282億12百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は3億61百万円（同35.6%減）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、新型コロナウイルスの影響で処方箋枚数が大幅に減少したことにより、売上は減少いたしました。また、利益面では、上記処方箋枚数の減少に加えて、材料費の高騰や消費税増税の影響もあり大幅な減益となりました。

その結果、売上高は69億13百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は22百万円（同89.8%減）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、入居者数は安定的に推移し、訪問介護・看護部門での売上も順調に推移しました。利益面では、不動産部門での大口の不動産仲介手数料収入があった前年同期との比較では減益となりました。

その結果、売上高は18億20百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は2億10百万円（同19.0%減）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、レセプトコンピュータの販売や、当社グループの開発案件等は順調に受注いたしました。しかし、一般企業向けビジネスでは、新型コロナウイルスの影響により営業活動が制限されたことと、システム開発スケジュールや設備投資を先送りする企業があったことにより、売上・利益ともに前年を下回る結果となりました。

その結果、売上高は7億64百万円（前年同期比26.0%減）、営業利益は27百万円（同78.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,312億52百万円（前連結会計年度末は1,306億53百万円）となり、5億99百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が4億17百万円、投資有価証券が13億77百万円増加した一方、現金及び預金が3億58百万円、商品及び製品が1億75百万円減少したことなどによるものです。

負債は773億37百万円（前連結会計年度末は779億23百万円）となり、5億86百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が1億25百万円、未払法人税等が6億95百万円減少した一方、賞与引当金が1億28百万円増加したことによるものです。

純資産は、539億14百万円（前連結会計年度末は527億29百万円）となり、11億85百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が5億33百万円、その他有価証券評価差額金が9億13百万円増加した一方、自己株式により2億76百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億58百万円減少し、211億94百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は9億98百万円（前年同期比70.4%減）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益12億29百万円（同36.9%減）、減価償却費5億48百万円（同15.2%増）、たな卸資産の減少1億75百万円（同77.5%減）、賞与引当金の増加1億28百万円（同12.1%増）、未収入金の減少3億67百万円（前年同期は5億82百万円の増加）などがありましたが、減少要素として売上債権の増加1億42百万円（前年同期比97.9%減）、仕入債務の減少が1億25百万円（前年同期は70億92百万円の増加）、法人税等の支払10億54百万円（前年同期は7億8百万円の還付）があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億30百万円（前年同期比64.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の売却により3億49百万円（前年同期は2百万円の獲得）の資金を獲得した一方、有形固定資産の取得により10億89百万円（前年同期比53.0%減）、無形固定資産の取得により77百万円（同45.5%減）の支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億25百万円（前年同期比115.4%増）となりました。これは主に配当金の支払2億23百万円（同0.0%減）および自己株式の取得による支出2億76百万円（前年同期は0百万円の支払）リース債務の返済24百万円（前年同期比29.8%増）があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

・2021年3月期通期連結業績予想数値の修正

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の終息時期が見えないなど、不確定要素が多いため2020年8月5日に取り下げ、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報および第2四半期（累計）の業績予想を踏まえ、通期連結業績予想を改めて公表いたします。

内容につきましては、2020年11月5日に公表いたしました「第2四半期（累計）業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回発表予想（B）	235,000	1,300	2,400	1,600	68.17
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	243,102	2,973	4,121	2,043	86.81

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,553	21,194
受取手形及び売掛金	50,032	49,915
商品及び製品	15,607	15,432
仕掛品	1	2
その他	6,330	5,817
貸倒引当金	△27	△25
流動資産合計	93,498	92,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,040	7,957
土地	8,429	8,738
建設仮勘定	190	385
その他(純額)	1,068	1,065
有形固定資産合計	17,729	18,146
無形固定資産		
のれん	1,387	1,323
ソフトウェア	507	634
その他	328	92
無形固定資産合計	2,223	2,051
投資その他の資産		
投資有価証券	15,589	16,966
長期売掛金	238	197
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	281	513
繰延税金資産	428	441
退職給付に係る資産	44	11
その他	783	740
貸倒引当金	△163	△155
投資その他の資産合計	17,201	18,717
固定資産合計	37,154	38,915
資産合計	130,653	131,252

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,553	69,130
電子記録債務	1,334	1,631
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	1,263	567
賞与引当金	823	951
役員賞与引当金	156	55
返品調整引当金	44	44
その他	1,456	1,349
流動負債合計	74,633	73,732
固定負債		
長期借入金	20	19
繰延税金負債	1,577	1,933
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	628	563
長期未払金	295	311
資産除去債務	468	471
その他	178	183
固定負債合計	3,290	3,604
負債合計	77,923	77,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	35,767	36,300
自己株式	△607	△883
株主資本合計	47,980	48,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,044	6,958
土地再評価差額金	△1,100	△1,100
退職給付に係る調整累計額	△203	△189
その他の包括利益累計額合計	4,741	5,668
非支配株主持分	6	8
純資産合計	52,729	53,914
負債純資産合計	130,653	131,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	123,597	117,387
売上原価	114,265	108,420
売上総利益	9,331	8,967
販売費及び一般管理費		
荷造費	486	521
給料	3,608	3,845
賞与引当金繰入額	785	802
役員賞与引当金繰入額	56	55
退職給付費用	167	184
法定福利及び厚生費	722	763
賃借料	151	149
その他	2,051	1,975
販売費及び一般管理費合計	8,028	8,297
営業利益	1,303	670
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	147	146
受取事務手数料	254	266
不動産賃貸料	70	62
持分法による投資利益	59	52
貸倒引当金戻入額	20	13
その他	114	85
営業外収益合計	668	629
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	45	45
遊休資産諸費用	14	14
持分法による投資損失	0	1
その他	12	17
営業外費用合計	73	78
経常利益	1,898	1,221
特別利益		
固定資産売却益	0	33
負ののれん発生益	179	—
特別利益合計	179	33
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	3	22
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	125	—
減損損失	0	—
特別損失合計	129	25
税金等調整前四半期純利益	1,948	1,229
法人税、住民税及び事業税	973	531
法人税等調整額	△321	△60
法人税等合計	651	470
四半期純利益	1,296	758
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,295	757

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,296	758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	913
退職給付に係る調整額	9	13
その他の包括利益合計	△520	927
四半期包括利益	776	1,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	774	1,684
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,948	1,229
減価償却費	475	548
のれん償却額	87	64
負ののれん発生益	△179	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△10
受取利息及び受取配当金	△149	△148
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△58	△50
固定資産売却損益(△は益)	△0	△30
固定資産除却損	3	22
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	125	—
減損損失	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△6,657	△142
たな卸資産の増減額(△は増加)	779	175
仕入債務の増減額(△は減少)	7,092	△125
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35	38
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	△44
賞与引当金の増減額(△は減少)	114	128
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△72	△101
未収入金の増減額(△は増加)	△582	367
預り金の増減額(△は減少)	△99	△39
その他	△243	23
小計	2,517	1,904
利息及び配当金の受取額	149	148
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	708	△1,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,376	998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,317	△1,089
有形固定資産の売却による収入	2	349
無形固定資産の取得による支出	△141	△77
投資有価証券の取得による支出	△19	△18
投資有価証券の売却による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	101	—
貸付金の回収による収入	12	12
その他	△3	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,364	△830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1	△0
自己株式の取得による支出	△0	△276
配当金の支払額	△223	△223
リース債務の返済による支出	△19	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243	△525
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	767	△358
現金及び現金同等物の期首残高	20,913	21,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,681	21,194

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	83,617	30,755	7,279	1,642	280	22	123,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,709	241	5	87	753	1,221	7,018
計	88,326	30,997	7,285	1,729	1,033	1,244	130,616
セグメント利益	457	561	217	259	126	594	2,217

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,217
セグメント間取引消去	△805
のれんの償却額	△76
たな卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,303

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

医療機器卸売事業において、2019年4月1日付で株式会社ノバメディカルの株式を取得いたしました。これに伴い、第2四半期連結累計期間において、1億79百万円の負ののれん発生益を計上しております。

2 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	80,591	27,863	6,907	1,794	202	27	117,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,498	348	6	26	561	1,293	6,734
計	85,090	28,212	6,913	1,820	764	1,320	124,122
セグメント利益	232	361	22	210	27	680	1,534

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,534
セグメント間取引消去	△793
のれんの償却額	△48
たな卸資産の調整額	△22
四半期連結損益計算書の営業利益	670

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。